

「飯盛女の献燈」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（石造物） 昭和 63 年 3 月 28 日
- 所 在 地 千曲市大字戸倉 1990 番地 水上布奈山神社境内
- 所 有 者 みずかみふなやまじんじや
水上布奈山神社
- 概 要 石燈籠 1 基 寸法：総高 159 cm、最大幅 75 cm
- 時 代 江戸時代 天保 10（1839）年
- 公 開 いつでも可

天保 10 年(1839)7 月、下戸倉宿しもとぐらしゆくに働く飯盛女 52 名が境内にある稻荷社の前に、旅籠屋主人等（北側の夜燈）と共に献じたもので、総高 159 cm、最大幅 75 cmの夜燈です。基礎には献じた飯盛女 52 名の名が刻まれています。風化により読みにくくなっています。

飯盛女は、自分の健康や自由への願いなどを込めて、この夜燈を献じたものと思われます。全国的に見ても非常に珍しいもので、また当時の下戸倉宿の構成や旅籠屋の機能、人権、代官の権威、庶民の生活経済など封建社会の世相を知る上に重要な価値があると考えられます。

